

植物採集メモ (2)

若杉孝生

サクラソウ科

1) *Samolus parviflorus* Rafin.

ハイハマボックス (ヤチハコベ)



北アメリカ、北海道の一部、本州に分布するもので、本州では東北の日本海側と、北陸、関東、近畿に点々と記録されている。全長30cm内外の淡緑色の多年草で、日当たりのよい湿地に生える。葉は互生して1~5cm、質はうすく、淡褐色の斑点がある。花序は経2~3mmの小白花を20前後総状につける。花期は6~8月で、筆者が採集したときは、殆ど結実しており、わずかに花序の先端の1~2花が花弁をつけていた。ハイハマボックス属は日本ではこの一種だけである。

(45. 8. 23 今立郡池田町 河内)

ゴマノハグサ科

2) *Scrophularia Grayana* Maxim.

エゾヒナノウスツボ

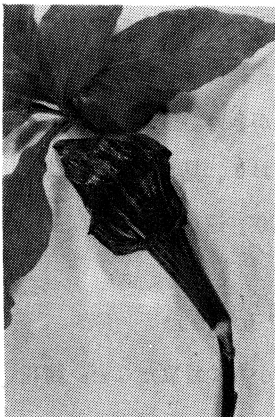
北海道、千島、カラフトに分布し、本州では能登半島以北の海岸に生えているものでオオヒナノウスツボに似ていて、茎に翼がある。

(45. 10. 18 福井市 大丹生)

サトイモ科

3) *Arisaema robustum* Nakai var. *ovale* kitamura

アシウテンナンショウ



葉は1個で、葉身は5小葉からなる。ヒロハテンナンショウに似るが、苞は紫色をおび花序の延長部は棍棒状で、先の方はふくれてやや扁平なバット状である。経6~8mmあり濃紫色。

(45. 6. 7 大野市刈込池)

イネ科

4) *Festuca ovina* L. var. *chiisanensis* Ohwi

チイサンウシノケグサ

ウシノケグサの変種で四国(剣山)、朝鮮に分布する稀れなもので、アオウシノケグサに似ているが、葉は軟らかく、縦溝がある。

(44. 7. 20 大野市三ノ峯)

5) *Setaria verticillata* Beauv. var. *ambigua* Parl.

イヌエノコログサ(帰化)

ザラツキエノコログサの変種で、小穂下の剛毛は上向きにざらつき、花序の中軸には短い剛毛と白い長軟毛の両方がある。

(44. 11. 9 大野市六呂師)

ウマノスズクサ科

6) *Asarum asperum* F. Maekawa

ミヤコアオイ



近畿地方以西及び四国に分布するもので花の筒部の先が著しくくびれる。葉は卵円形で光沢は少く質はややうすく、白斑が多い。筆者が採集したときは十数株が群生しており、見事な株であった。

(45. 5. 10 遠敷郡上中町)

キク科

7) *Galinsoga parviflora* Cav.

コゴメギク(帰化)

ハキダメギク(*G. ciliata* Blake)に似るが、舌状花の冠毛は小さく目立たない。筒花の冠毛はハキダメギクのようにノゲ状にならない。

(45. 9. 13 敦賀市新保)

<以上、福井県に未記録と思われるもののみを記しました。

尚、№1から№6の6点については、国立科学博物館主催の第35回おしぼな展に出品したものです。>

福井市中央2丁目8-27